

# 〔日本腐植物質学会 第 25 回大会プログラム〕

会 期：2009 年 11 月 25 日（水）～11 月 26 日（木）

会 場：兵庫県立大学環境人間学部

## 大会日程

11 月 25 日		11 月 26 日	
8:30～ 9:00	受 付	8:40～ 9:00	受 付
9:00～ 9:05	開会の辞	9:00～10:20	一般講演 2 (S8-S11)
9:05～10:00	特別講演	9:00-	S8
10:10～12:30	一般講演 1 (S1-S7)	9:20-	S9
10:10-	S1	9:40-	S10
10:30-	S2	10:00-	S11
10:50-	S3	10:30～12:10	一般講演 3 (S12-S16)
11:10-	S4	10:30-	S12
11:30-	S5	10:50-	S13
11:50-	S6	11:10-	S14
12:10-	S7	11:30-	S15
13:30～14:30	総 会	11:50-	S16
14:40～17:50	テーマ講演 (T1-T4)	13:20～14:40	一般講演 4 (S17-S20)
14:40-	主旨説明	13:20-	S17
14:45-	T1	13:40	S18
15:25-	T2	14:00	S19
16:15-	T3	14:20	S20
16:55-	T4	14:50～16:10	一般講演 5 (S21-S24)
17:35-	総合討論	14:50	S21
18:00～	懇親会	15:10	S22
		15:30	S23
		15:50	S24
		16:10～16:15	閉会の辞

## 日本腐植物質学会第 25 回大会実行委員会

委員長 杉山裕子(兵庫県立大学)

藤嶽暢英(神戸大学)・熊谷 哲(兵庫県立大学)

事務局：〒670-0092 姫路市新在家本町 1-1-12

兵庫県立大学環境人間学部 杉山裕子(気付)

電話：079-292-1515, FAX:079-293-5710

E-mail: sugiyama@shse.u-hyogo.ac.jp

－ 大会 1 日目 (11 月 25 日) －

受付 (8:30～9:00)

開会の辞 (9:00～9:05)

特別講演 (9:05～10:00) 【座長:川東正幸】

Black carbon in permafrost soils: indications for its mobilization due to permafrost thawing.  
Prof. Georg Guggenberger (Institute of Soil Sci., Leibniz University, Hannover, Germany)

－ 休憩 －

一般講演 1 (10:10～12:30) 【座長:渡辺彰(S1～S3), 青山正和(S4～S7)】

- S-1. クロスフローろ過法によって測定される腐植酸表面への Ca, Mg, K, Na, Fe(III)の濃縮:○勝見尚也・米林甲陽(石川県立大学生物資源環境学部)
- S-2. 琵琶湖の腐植物質が Fe(II)の安定性に与える影響:○永岡一樹<sup>1</sup>, 丸尾雅啓<sup>2</sup>, 小林一星<sup>2</sup>, 大田啓一<sup>3</sup>(<sup>1</sup>滋賀県立大学大学院環境科学研究科環境動態学専攻, <sup>2</sup>滋賀県立大学環境科学部環境生態学科, <sup>3</sup>滋賀県立大学)
- S-3. 北海道幌延地域の深部地下水から分離・精製した溶存腐植物質に対する Eu(III)の結合特性:○寺島元基<sup>1</sup>, 長尾誠也<sup>2</sup>, 岩月輝希<sup>3</sup>, 佐々木祥人<sup>1</sup>, 清田佳美<sup>1</sup>, 吉川英樹<sup>1</sup>(<sup>1</sup>日本原子力研究開発機構 地層処分研究開発部門, <sup>2</sup>金沢大学環日本海域環境研究センター, <sup>3</sup>日本原子力研究開発機構 幌延深地層研究センター)
- S-4. 大分県主要二河川における DOM および DOM 結合型鉄濃度の季節・地点間変動:○諸井国郎<sup>1</sup>, 諫本信義<sup>2</sup>, 渡辺 彰<sup>1</sup>(<sup>1</sup>名古屋大学大学院生命農学研究科, <sup>2</sup>NPO 法人「森と海の共生ネットワーク」)
- S-5. 堆肥から抽出した腐植物質と鉄(II)の錯生成能:山本光夫<sup>1</sup>, 西田 敦<sup>2</sup>, 大塚敬嗣<sup>3</sup>, 駒井 武<sup>4</sup>, 福嶋正巳<sup>5</sup>(<sup>1</sup>東京大学教養学部, <sup>2</sup>東京大学大学院工学系研究科, <sup>3</sup>日鉄環境エンジニアリング, <sup>4</sup>産業技術総合研究所地圏資源環境研究部門, <sup>5</sup>北海道大学大学院工学研究科)
- S-6. 低分子化合物の腐植化に及ぼすアロフェン分画の鉄含有量差による影響:○三浦亮貴<sup>1</sup>, 福嶋正巳<sup>1</sup>, 佐藤努<sup>1</sup>, 佐々木正秀<sup>2</sup>(<sup>1</sup>北海道大学院工学研究科, <sup>2</sup>産業総合研究所)
- S-7. 累積性黒ボク土断面における植物炭化物の垂直分布と年代, 腐植組成あるいは炭素貯留との関係:宮崎圭介<sup>1</sup>, 井上 弦<sup>2</sup>, 西村周作<sup>1</sup>, 田中麻依子<sup>1</sup>, ○進藤晴夫<sup>1</sup>(<sup>1</sup>山口大学農学部, <sup>2</sup>九州大学中央分析センター)

－ 昼食 －

総会 (13:30～14:30)

－ 休憩 －

テーマ講演 (14:40～17:50) 【コンピーナー:杉山裕子・藤嶽暢英】

「水環境における腐植物質の動態解析技術」

- T-1. 水環境中の溶存有機物の蛍光分析:○眞家永光(北里大学獣医学部)
- T-2. 琵琶湖集水域における溶存有機物の動態研究:○吉岡崇仁<sup>1</sup>, Mostofa, K.M.G.<sup>2</sup>(<sup>1</sup>京都大学フィールド科学教育研究センター, <sup>2</sup>Institute of Geochemistry, Chinese Academy of Sciences)

－ 休憩 －

**T-3. FTICR-MS による超高分解能高精度質量分析による物質同定ストラテジー:**○高橋勝利  
(独)産業技術総合研究所計測フロンティア研究部門)

**T-4. バイカル湖・エニセイ川流域における溶存有機物の量的・質的遷移:**○杉山裕子(兵庫県立大学環境人間学部)

総合討論

懇親会 (18:00～)

## － 大会 2 日目 (11 月 26 日) －

受付 (8:40～9:00)

### 一般講演 2 (9:00～10:20) 【座長:川東正幸】

**S-8. 非生物的堆肥化促進剤による米ぬかの堆肥化条件に関する基礎検討:**○菅野ひかり, 立花直也, 福嶋正巳(北海道大学大学院工学研究科)

**S-9. 水溶性鉄ポルフィリン触媒によるテトラプロモビスフェノール A の酸化分解挙動に及ぼす腐植酸の影響:**○福嶋正巳<sup>1</sup>, 石田洋輔<sup>1</sup>, 重松聡子<sup>1</sup>, 倉光英樹<sup>2</sup>(<sup>1</sup>北大院工学研究科,<sup>2</sup>富山大院理工)

**S-10. 土壤腐植物質の FT-ICR MS スペクトル解析:**○池谷康祐<sup>1</sup>, Hatcher P.G.<sup>2</sup>, 大谷 肇<sup>1</sup>, 渡辺彰<sup>3</sup>(<sup>1</sup>名古屋工業大学大学院工学研究科,<sup>2</sup>Department of Chemistry and Biochemistry, Old Dominion University,<sup>3</sup>名古屋大学大学院生命農学研究科)

**S-11. 腐植酸の二次元電気泳動:**○青山正和(弘前大学農学生命科学部)

－ 休憩 －

### 一般講演 3 (10:30～12:10) 【座長:藤嶽暢英】

**S-12. 陸起源有機物の河川から湾への輸送 (1): 相模川から相模湾へ:**○上間美穂<sup>1</sup>, 高橋昌城<sup>1</sup>, 園田和彦<sup>1</sup>, 土屋健二<sup>1</sup>, 吉木朝子<sup>1</sup>, 菊池知彦<sup>2</sup>, 山本修一<sup>1</sup>(<sup>1</sup>創価大学工学部環境共生工学科,<sup>2</sup>横浜国立大学教育人間科学部)

**S-13. 陸起源有機物の河川から湾への輸送 (2): 当幌川から野付湾へ:**○園田和彦, 上間美穂, 下村明希子, 高橋昌城, 黒沢則夫, 山本修一(創価大学工学部環境共生工学科)

**S-14. 堆積腐植層試料の生分解と溶存有機物の溶出:**浅見 琴, ○川東正幸, 隅田裕明(日本大学生物資源科学部)

**S-15. 泥川における降雨時に河川へ流出する溶存有機炭素の移行挙動:**○高畠容子<sup>1</sup>, 長尾誠也<sup>2</sup>, 柴田英昭<sup>3</sup>(<sup>1</sup>北海道大学大学院環境科学院,<sup>2</sup>金沢大学環日本海域環境研究センター,<sup>3</sup>北海道大学北方生物圏フィールド科学センター)

**S-16. 湿原水溶存有機物の糖組成と元素組成における気候帯と季節変化の影響:**○筒木 潔<sup>1</sup>, 吉田恵美<sup>1</sup>, 渡辺 彰<sup>2</sup>, 真家永光<sup>3</sup>, Lulie Melling<sup>4</sup>(<sup>1</sup>帯広畜産大学,<sup>2</sup>名古屋大学大学院生命農学,<sup>3</sup>北里大学獣医学部,<sup>4</sup> Tropical Peat Research Unit, Sarawak Malaysia)

－ 昼 食 －

#### 一般講演 4 (13:20～14:40) 【座長:福嶋正巳】

- S-17.フミン酸吸着によるイモゴライトの表面荷電特性の変化:**○白鳥克哉<sup>1</sup>, 志村友美<sup>2</sup>, TOTHIldiko<sup>3</sup>, TOMBACZ Etelka<sup>3</sup>, 足立泰久<sup>1</sup>(<sup>1</sup>筑波大学大学院生命環境科学研究科,<sup>2</sup>筑波大学生命環境科学学類,<sup>3</sup>Department of Physical Chemistry and Material Science, Univ. of Szeged)
- S-18.コロイド安定性に基づくフミン酸のカラム通過と沈着過程の解析:**○田邊洋祐<sup>1</sup>足立泰久<sup>1</sup>山下祐司<sup>2</sup>田中忠夫<sup>3</sup>(<sup>1</sup>筑波大学大学院生命環境科学研究科,<sup>2</sup>東京大学大学院工学系研究科,<sup>3</sup>日本原子力研究開発機構・原子力科学研究所)
- S-19.電解促進酸化フェライト法の開発とフミン酸を用いた汚染物質の共沈処理に関する基礎的検討:**○原 夕貴<sup>1</sup>・倉光英樹<sup>2</sup>・波多宣子<sup>2</sup>・田口 茂<sup>2</sup>(<sup>1</sup>富山大学理学部生物圏環境科学科,<sup>2</sup>富山大学大学院理工学研究部)
- S-20.フミン酸の粘土鉱物リモナイトへの吸着挙動:**○田中祐太郎<sup>1</sup>, 山本愛希子<sup>1</sup>, 加藤佑亮<sup>1</sup>, 高橋克宗<sup>1</sup>, 川東正幸<sup>2</sup>, 蔵本厚一<sup>3</sup>, 内田勝美<sup>1</sup>, 土屋好司<sup>1</sup>, 矢島博文<sup>1</sup>(<sup>1</sup>東京理科大学理学部応用化学科,<sup>2</sup>日本大学生物資源学部農芸化学科,<sup>3</sup>(株)日本リモナイト)

— 休 憩 —

#### 一般講演 5 (14:50～16:10) 【座長:杉山裕子】

- S-21.Trametes versicolorラッカーゼのフルボ酸褪色研究への適用—固定化酵素による逐次反応と反応後フルボ酸の分析—:**○柳由貴子<sup>1</sup>, 田原弘文<sup>1</sup>, 藤嶽暢英<sup>2</sup>(<sup>1</sup>南九州大学園芸学部,<sup>2</sup>神戸大学大学院農学研究科)
- S-22.堆肥の水抽出有機物が PAH の微生物分解に及ぼす影響:**○小林孝行<sup>1, a</sup>, 辰巳憲司<sup>1</sup>, 飯村洋介<sup>1</sup>(<sup>1</sup>産業技術総合研究所・環境管理技術研究部門,<sup>a</sup>茨城高専・物質工学科(現所属))
- S-23.腐植物質に対する医薬品類の収着:**森寿代, ○大谷知也, 福田伊津子, 芦田 均, 藤嶽暢英(神戸大学大学院農学研究科)
- S-24.腐植化初期の腐植物質のフリーラジカル濃度に関する多様な極性基:**○藪田ひかる<sup>1</sup>・福嶋正巳<sup>2</sup>・川寄幹生<sup>3</sup>・田中ふみ子<sup>4</sup>・小林孝行<sup>5</sup>・辰巳憲司<sup>4</sup>(<sup>1</sup>阪大宇宙地球,<sup>2</sup>北大工,<sup>3</sup>埼玉県環境科学国際セ,<sup>4</sup>産総研環境管理技術,<sup>5</sup>茨城高専)

閉会の辞 (16:10～16:15)